

「活躍する地域の代協」

都道府県代協レポートリレー

第48回
北海道代協

健全な財政基盤の確保と情報と

熱が伝わる組織作りが今後の課題

北海道代協は2023年6月2日、プレミアホテル中島公園札幌3階ルミエールにて2023年度北海道代協通常総会と元日本代協専務理事である野元敏昭氏によるセミナーを開催しました。セミナーのテーマは「ミライは自ら創るもの」10年後も必要とされる代理店となるために」です。総勢300人が参加しました。

セミナーの開催に先立ち挨拶した佐藤聖会長は「今後は代理店も一つの企業として発展していかなければならない。業務の効率化や生産性を高めるためにDXやAIを導入し、かつ顧客本位の業務運営を徹底して行っていくことが大切になってきます。現在私達代理店はISOや内務監査など、さまざまなものに取り組んでいますが、まだまだ企業としては成り立っていないと思います。講師の野元様は13年

間にわたり日本代協に在籍していただき私達代理店のことを熟知されているのでぜひ本日のセミナーを参考にして10年後も生き残れる代理店に全員で成長していきましょう」と述べました。

講演で野元氏は「急速に進化するDXによって、社会はプロオアデジタルからアフターデジタルの時代へと大きな転機を迎えようとしている」と10年先はおろか5年先も見通せない不透明な環境の中で、保険代理店の将来ビジョンをどう描くのか、どんな時代になってもお客様から必要とされる存在として事業を継続していくために必要なことは何なのか、皆様と一緒に考えたいと思う」と述べました。

「今回のセミナーが代協会員の皆様への一歩につながれば幸いです」と述べました。

本年度はコロナウイルス感染拡大の影響がまだ残っており、Web環境を整えつつオンライン会議システムを駆使して活動してまいりました。ただ後半はコロナウイルスが5類に分類されたこともあり、リアルで活動

できる時間が増えてきて、各支部でも新年交礼会を始め、リアル開催ができるようになりました。

この3年間で北海道代協も会員の皆様もデジタル活用が進み、会議や保険契約においてもWebで行う時代になり、コロナウイルスがデジタル化を早めたといえるでしょう。

北海道代協の今年一番の特筆すべきこととしては「会員増強」「コンサルティング受講推奨」「ぼうさい探検隊」の各目標を真事に達成し、4年連続の三冠王を獲得したことです。特に「ぼうさい探検隊」は全国一位に輝きました。各委員長、そして会員の皆様のご協力に改めて感謝と御礼を申し上げます。

さて、2022年度は北海道代協の会員数はますます減少傾向となりました。今年度は予算PTを立ち上げて予算の適正化に向け各支部長の皆様にも、ご協力いただきま

した。今年度は予算PTを算適正化に苦勞した年でも、健全な財政基盤の確保と、情報と熱が伝わる組織作りが今後の課題ですので継続して適正化に向けご協力をお願いします。



のよう
の総会

またまだ企業としては成り立っていないと思えます。講師の野元様は13年間にわたり日本代協に在籍していただき私達代理店のことを熟知されているのでぜひ本日のセミナーを参考にして10年後も生き残れる代理店に全員で成長していきましょう」と述べました。

講演で野元氏は「急速に進化するDXによって、社会はプロオアデジタルからアフターデジタルの時代へと大きな転機を迎えようとしている」と10年先はおろか5年先も見通せない不透明な環境の中で、保険代理店の将来ビジョンをどう描くのか、どんな時代になってもお客様から必要とされる存在として事業を継続していくために必要なことは何なのか、皆様と一緒に考えたいと思う」と述べました。

「今回のセミナーが代協会員の皆様への一歩につながれば幸いです」と述べました。

本年度はコロナウイルス感染拡大の影響がまだ残っており、Web環境を整えつつオンライン会議システムを駆使して活動してまいりました。ただ後半はコロナウイルスが5類に分類されたこともあり、リアルで活動

できる時間が増えてきて、各支部でも新年交礼会を始め、リアル開催ができるようになりました。

この3年間で北海道代協も会員の皆様もデジタル活用が進み、会議や保険契約においてもWebで行う時代になり、コロナウイルスがデジタル化を早めたといえるでしょう。

北海道代協の今年一番の特筆すべきこととしては「会員増強」「コンサルティング受講推奨」「ぼうさい探検隊」の各目標を真事に達成し、4年連続の三冠王を獲得したことです。特に「ぼうさい探検隊」は全国一位に輝きました。各委員長、そして会員の皆様のご協力に改めて感謝と御礼を申し上げます。

さて、2022年度は北海道代協の会員数はますます減少傾向となりました。今年度は予算PTを立ち上げて予算の適正化に向け各支部長の皆様にも、ご協力いただきま

した。今年度は予算PTを算適正化に苦勞した年でも、健全な財政基盤の確保と、情報と熱が伝わる組織作りが今後の課題ですので継続して適正化に向けご協力をお願いします。